

「地域づくり拠点化整備基本計画」（道の駅）に係る中間報告書（概要版）意見募集に対する結果について

該当箇所	中間報告書（概要版）に対するご意見	町の考え方及び策定委員会、専門部会（地域部会・施設部会）において検討された結果
「基本計画」のわかりやすさ	「新幹線敦賀開業を見据えた地域住民の交流拠点の実現」とあるが、敦賀開業による交流人口の拡大と地域住民の交流という、2つのキーワードの関連性が理解できない。事業を成功裏に導くには、住民の多くの理解と共感が不可欠なので、わかりやすく、思いがこもった計画書にすべきと思う。ちなみに、道の駅の愛称は決まっているのか。	新幹線敦賀開業により、観光客等の増加が見込まれることから、JR小浜線の活性化も含め、道の駅が地域住民の交流拠点、観光客等への情報発信拠点となるよう整備を進めているところです。今後も、地元住民の皆様へ、事業について分かりやすい説明を心がけると共に、道の駅に対する思いをいただくための機会を設けるようにします。なお、現時点で道の駅の名称は決まっていますが、今後公募したいと考えています。【町】
交通関係	駅前県道（美浜停車場線）拡幅や駅前広場、駅前広場から西に伸びる町道の整備が必要ではないか。また、道の駅駐車場から、国道27号への右折による退出は危険ではないか。道の駅で計画している駐車場は広すぎるのではないか。	駅前の町道・広場については、道の駅との一体的な利用を踏まえ、更に現在計画作成中の「立地適正化計画」の結果も反映し、改修の可能性について検討を進めていきます。【町】 国道27号への右折退出を想定し、駐車場出入り口付近に右折だまり等を整備することについて、国と調整しているところです。【専門部会】 なお、道の駅で計画している駐車場につきましては、国道及び県道の交通量より基準に基づいて規模を設定しています。【町】
交流機能	町内に種々のコミュニケーションが出来る場を作り、美浜に来た人が長く留まれる場所の提供だけでなく、地元の人たちが楽しく安心して何度も訪れたい賑わいのある場所にしてほしい。	ご意見の通り、ドライバーの方はもちろん、訪れた方どなたもがくつろいで、安心して楽しむことができる場所となることを目指します。 【専門部会】

該当箇所	中間報告書（概要版）に対するご意見	町の考え方及び策定委員会、専門部会（地域部会・施設部会） において検討された結果
情報機能	町の魅力向上にはIT教育とITインフラの整備が重要であり、そのためにはまず、道の駅やその他の施設にwi-fi環境の整備等、IT機能の向上を目指すべき。 道の駅は美浜のあらゆる情報を入手できる場所となるべき。	道の駅には無料で利用できるwi-fiのアクセスポイントを用意するなど、ITへの対応を検討します。また、コンシェルジュを設置し、道路情報や観光情報をはじめとする地域の様々な情報を受発信できる施設を目指していきます。【町】
子育て交流機能	キッズスペース、子供用の遊具。屋外で子供が遊べるスペース。当日予約が可能な一時預り施設。ベビーカーの設置。キッズスペースのあるカフェ、レストラン。	施設の全てにおいて、小さなお子さん連れで来られた方が不便なく利用できるように配慮します。また、町内の他の子育て支援施設と連携しながら、子育てを支援できる交流機能の実現を検討します。【専門部会】
飲食・物販機能	美浜でお金を使ってもらうためには、それなりに需要にあった飲食店や物販施設が必要。 通勤や会食のための夜間営業する食堂や居酒屋、昼間に立ち寄れるカフェ、ワンコインの定食屋、お弁当屋など。 ありきたりな料理ではなく、美浜ブランドとして「へしこ」を使ったメニューがあると良い。 物販施設は量販店などがあるので、お土産屋があると良いのでは。	物販施設や飲食施設が町民や来訪される方々の交流の場となるように、品揃えや運営時間等について検討を進めていきます。 【専門部会】

該当箇所	中間報告書（概要版）に対するご意見	町の考え方及び策定委員会、専門部会（地域部会・施設部会）において検討された結果
防災機能	道の駅の敷地にわざわざ防災施設を整備しなくても良いのではないか。また、ガソリンスタンドを防災機能というのは違和感を感じる。	熊本地震では被災地周辺の「道の駅」が避難場所の提供や炊き出し支援、物資の集積などにも活用され「道の駅」が地域の防災機能の一端を担う例は増えつつあります。【策定委員会】 町内の防災拠点としては美浜町役場が中心となりますが、本道の駅は広い駐車場や地域振興施設、さらに燃料の備蓄という観点から、防災のサブ拠点として位置づけ、観光客などの一時滞在者、災害に伴う帰宅困難者を対象とした防災機能の整備を検討しています。【町】
施設の経営	民間の資本や知恵を集めて、利益の上がる施設とすることが町の発展のためにも重要。道の駅利用者のターゲットなどを明確にして、費用対効果、採算性についてしっかり検討して事業をすすめてほしい。	道の駅を運営するに当たっては、確実に利益を生み出し、町に還元することを目指して、積極的に民間のノウハウや資本導入に努めます。【町】
地域の魅力	美浜町の地域資源を引き出し、魅力を伝える施設づくりが必要である。休憩や便益施設などの提供にとどまらず、まちのPRセンターとして、既存の施設や観光地・催し物の魅力をコーディネートすることを本分にしたらどうか。周囲の風景を見渡せる展望台や、五木ひろし記念館の建設、既存農業倉庫の保存活用など、地域の資源をうまく活用してほしい。	美浜町の核として、町の発展に寄与するために、ご意見のような町のPRは非常に重要な役目と考えており、観光協会・商工会等とも連携して具体的な方策を検討していきます。また、町の魅力を引き出す各々のご提案については、実現には費用がかかるものもあるため、費用対効果を考慮しながら検討していきます。また、既存施設の利用可能性についても今後検討を行います。【町・策定委員会】

該当箇所	中間報告書（概要版）に対するご意見	町の考え方及び策定委員会、専門部会（地域部会・施設部会）において検討された結果
宿泊施設	道の駅、または周辺にホテルを作ってはどうか。交通の便が良いので、ビジネス客や観光客の利用が見込めるのではないか。	現段階では計画地への宿泊施設の整備は検討していません。今後、JR美浜駅周辺の再整備を検討するなかで、可能性について議論してきたいと思います。【町】
既存業者への配慮	商工会や地元飲食店等の既存事業者と連携し、道の駅との相乗効果を発揮して地域経済を発展させていくことが重要であり、競合ではなく連携と共存に配慮してほしい。 また、近隣にも道の駅等があるので集客面での差別化を図るべきと思う。	道の駅として、地元飲食店など既存の事業者の皆様と連携し、競合するのではなく相乗効果を発揮して美浜町を一緒に盛り上げていきたいと考えています。そのための連携方法については、今後検討したいと考えています。【町・専門部会】 近隣の他の道の駅等類似施設とも、差別化を図る一方で、利用客の利便性を考慮した連携も図り、各施設と共同で、地域の活性化につなげていくことを目指します。【町・専門部会】
人口減少への対応	少子高齢化・住民人口の減少という地域の危機的な状態を踏まえ、道の駅についても、それらの状況を改善するために有効な事業となるよう検討してほしい。	地域住民、通勤利用者、ドライバー、観光客の誰もが立寄りたくなるような工夫を施し、魅力ある施設づくりを行うことで、交流人口の増加と雇用の創出を目指します。また、町内への移住案内窓口を設ける等、定住人口増加への貢献に努めます。【町】
その他	敷地の拡張、二重扉、ATM、郵便局の窓口、駅直結で雨でも濡れないアーケード、イベントスペース、BBQスペース、美浜町観光協会、ドッグラン、健康遊具、コインランドリー、へしこちゃんのデザイン取り入れ等の施設への要望がありました。	ご提案のような施設や機能につきましては、今後、費用対効果もにらみながら、基本設計等において検討をすすめていきます。【町・専門部会】